

## 「親子ふれあいスポーツデー」 小川 智子（共成小地区・2期目）

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。気持ちのよい秋晴れのポカポカ陽気の下、11月17日（土）拜島第三小学校で親子ふれあいスポーツデーが開催されました。校庭では各スポーツ団体による輪投げやグラウンドゴルフなどの体験、体育館の中では私たちスポーツ推進委員による新体力テストとインドアペタング体験を実施しました。

校庭での種目で一汗かいた子どもたちが体育館内に移動し、10時頃から徐々に体育館も賑やかになり、新体力テストに挑む子どもたちの顔は真剣で、各々自分の持つ最大限の力を出して挑戦する姿はほほ笑ましかったです。

中には親子で参加し、日ごろ見ることのできない本気モードのお父さんやお母さんを目の当たりにし、自分よりもすごい記録に「パパ凄い！」とか、息子のジャンプを見て「お母さんより遠くに跳べるんだね！」というような声も聞かれ、和気あい



あいとしたスポーツデーでした。親子でスポーツを通して楽しくコミュニケーションをとっていたら、より一層親子の絆を深めてもらえると思いました。

今回は大人19人、子ども67人の合計86人の方に参加していただきました。今後市民の皆さんには笑顔で安心して参加していただける場を提供していきたいと思っております。仕事や習い事など、ご家族それぞれに忙しい毎日をご過ごされていると思いますが、たまには気軽に親子でレッツ・エンジョイ☆スポーツ!!

皆さんのご参加をスポーツ推進委員一同心よりお待ちしております。

## 「第64回昭島市新春駅伝競走大会」 藪田 有司（拜一小地区・7期目）

新春を飾るスポーツとして誰もが年齢に応じたチームをつくり、気軽に参加できる恒例の昭島市新春駅伝競走大会を開催する。

この駅伝競走大会は、「スポーツの振興と走ることによる健康づくり、市民の交流を図ることを狙いとする」という趣旨のもので、平成31年1月13日（日）に開催されました。コースは市内周回コースで、6種目に分かれて健脚ぶりが発揮されました。一般1部は、一人1周（4350メートル）を5人が走りその他の部は、1周を2人で6人により継走するという競技方法で行われました。

午前8時30分、一般1部と中学生男子の部が臼井伸介市長のピストルの合図の下、各チーム優勝目指して一斉にスタートを切りました。

中継所では、満足した笑顔、苦しそうな顔、まっすぐ前を見据える顔、さまざま表情で『タ

スキ』を渡していました。中には、次のランナーがいないチームもあり、困惑顔の選手も見受けられました。それでも、選手の皆様はやり遂げた達成感あふれる笑顔で、素敵な汗をぬぐっていました。

また、新記録を目指すチーム、親睦を深めるために参加したチーム、コスプレに凝って駅伝を楽しもうとするチーム等様々でした。沿道の人たちも大きな声で応援し、選手たちの背中を後押ししていました。

ちなみに今年の駅伝大会の参加チーム数は200で参加者数は1636人でした。

